

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年2月26日  
独立行政法人福祉医療機構  
経営サポートセンター長 佐藤 肇  
経営サポートセンター  
チーフリサーチアドバイザー 本地 央明  
担当 荒牧 (電話) 03-3438-9932  
(FAX) 03-3438-0371

## 2019年度（令和元年度） 医療法人の経営状況に関するリサーチレポートについて

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について集計・分析しています。

このたび、2019年度（令和元年度）の医療法人の経営状況について、リサーチレポートをとりまとめました。

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r2/>

### リサーチレポートの概要

- 収支は増収減益となり、事業収益対事業利益率は2.0%と前年度の2.1%から0.2ポイント低下した。経常収益対経常利益率も0.2ポイント低下の2.5%であった。
- 経常赤字の法人割合は22.4%と前年度の24.8%から縮小（△2.4ポイント）した。
- 社会医療法人の経営状況をみると、事業収益対事業利益率は1.3%となり前年度から低下した。社会医療法人は他の医療法人よりも事業規模が大きいですが事業収益対事業利益率は低く、赤字法人の割合も27.0%でやや高い状況にあった。
- 実施事業別では、病院主体医療法人の経営状況は全体の傾向と同じく事業収益対事業利益率が低下したのに対し、老健主体医療法人の事業収益対事業利益率は上昇した。
- 病院主体医療法人は、2015年度以降大規模法人を中心に多くの法人で事業収益を増加させていた。とくに1床当たり病院事業収益の高い医療法人において増収となった法人が多くみられた。医療法人の運営する病床数はやや減少したが、介護保険施設を運営する法人や定員数は増加している。

以上